

【JOSSM 研究助成事業(学術プロジェクト)】

回	年度	助成対象者	所属名	研究テーマ
1	2007年度	米倉 暁彦	長崎大学	女子バスケットボール選手に対する膝前十字靭帯損傷予防プログラム
		新井 祐志	京都府立医科大学	内側膝蓋大腿靭帯(MPFL)のキネマティクスの解析－膝蓋骨脱臼の予防法の確立のために－
2	2008年度	松浦 哲也	徳島大学	少年野球肘予防ガイドラインの作成に向けて
		御園生 剛	筑波大学	高負荷運動時の膝関節モーメントと下肢キネマティクスとの関連性に関する研究
3	2009年度	椎名 逸雄	筑波大学	有限要素モデルを用いたラグビーの衝突場面における頭頸部バイオメカニクスの解明
		鈴木 智之	札幌医科大学	足3次元アライメントの詳細な検討－荷重の影響と足底挿板の効果
4	2010年度	田島 卓也	宮崎大学	ラグビー競技会における医療体制向上と重度外傷発生予防を目的とした安全度評価法の活用
5	2011年度	中瀬 順介	金沢大学	高校女子ハンドボール・バスケットボール選手の膝前十字靭帯損傷における危険因子の前向き調査
		山本 祐司	弘前大学	成長期の腰痛および腰椎スポーツ障害の疫学調査と発生に関わる因子の検討
6	2012年度	辰村 正紀	いちはら病院	学校プールでの安全な飛び込み方法の解明
		山口 智志	千葉大学	Real-time tissue elastographyを用いたアキレス腱変性の定量的評価法の確立
		若原 和彦	岐阜県立下呂温泉病院	スノーボード外傷のリスクを低減させるプロテクターの同定およびそのメカニズムの力学動作解析
7	2013年度	齋田 良知	順天堂大学	アスリートに対する多血小板血漿(PRP)療法の有効性の検討と至適PRP調整法の確立
		木田 圭重	綾部市立病院	少年野球指導者・選手に対する教育研修による投球障害発生抑制効果について
8	2014年度	村瀬 熱紀	名古屋市立大学	ジャイロスコープを使用した膝前十字靭帯損傷に対するPivot-shift testの定量評価
		小柳津 卓哉	東京医科歯科大学医学部附属病院	骨格筋打撲損傷後の高気圧酸素治療による筋再生促進効果
		山本 敦史	群馬大学	多施設での成長期野球選手におけるスポーツ障害実態調査
9	2015年度	木村 由佳	弘前大学	膝前十字靭帯再建術後の動的下肢アライメントの評価－競技復帰指標の確立と再損傷予防に向けて－
		池川 直志	柏市立柏病院	小児足関節捻挫における裂離骨折の発生頻度と臨床成績の前向き調査－再受傷予防のための最適な治療法の確立をめざして－
10	2016年度	西村 明展	三重大学	労働世代を対象とした運動能力とロコモティブシンドローム評価
		飯島 裕生	自治医科大学	せん断波による筋繊維の弾性定量評価
11	2017年度	赤木 龍一郎	千葉大学	成長期下肢スポーツ障害の発生要因の解明と予防に関する前向き研究
		杉浦 宏祐	徳島赤十字病院	腰椎疲労骨折(分離症)発生メカニズムからみた発生・再発予防策の確立
12	2018年度	藤田 有紀	弘前大学	女子長距離走選手における骨密度・骨代謝のシーズン内の変動に関する調査
		安間 三四郎	名古屋市立大学	高度不安定膝に対するACL再建と関節外再建の同時併用術の有効性－Inertial sensorを用いたpivot shift testの定量評価－
13	2019年度	小川 裕也	千葉大学	定期的なスポーツ活動のロコモティブシンドローム予防効果に関する、10年間の前向き住民コホート研究－スポーツの種類、強度と頻度に注目して－
		石川 博明	東北大学病院	各年代の野球選手における身体機能の特徴および投球障害に関与する因子の検討
14	2020年度	大川原洋樹	慶應義塾大学	育成年代を対象としたスポーツ障害予防に影響する疲労度を簡易的かつ客観的にスポーツ現場で測定可能な汗中乳酸測定による評価方法の検証
		一ノ瀬剛	群馬大学医学部附属病院	高校野球投手に対する肩・肘関節障害予防セルフケアプログラムの確立
		塚田圭輔	帝京大学	投球数が肩甲骨高位と投球動作に与える影響を明らかにする

\* 2007年度より実施